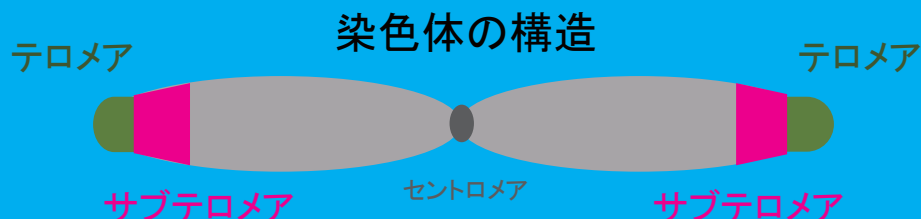


第37回 腫瘍病理セミナー

(北信がんプロ FD 講演会)

染色体末端領域テロメア・サブテロメアから 生命の基本原理を探る



DNA の変異が蓄積するとがんになることが知られています。遺伝情報の担い手である DNA と様々な蛋白質が結合して染色体という構造体が形成されます。線状の染色体の末端にはテロメアと呼ばれるドメインがあり、染色体の維持や細胞寿命の制御など、生命維持に必須の役割を果たしていることが知られています。

また、テロメアに隣接してサブテロメアと呼ばれるドメインがあります。サブテロメアはヒトの様々な疾患と関連があり、最近注目されつつあります。

本セミナーでは、テロメアやサブテロメアに関する我々の研究成果を紹介します。



日時：2019年7月25日（木）18時から
金沢医科大学 基礎研究棟3階大学院セミナー室
北信がんプロ e-learning 講義対象の演習です。
(連携機関に同時配信されます)



大阪大学・蛋白質研究所
独立准教授 加納純子

1991年 東京大学理学部生物化学科卒業
1996年 東京大学大学院理学研究科博士課程修了
1996年 米国 Scripps 研究所 ポスドク研究員
2000年 東京工業大学大学院生命理工学研究科 助手
2002年 京都大学大学院生命科学研究所 助教
2009年 大阪大学蛋白質研究所 テニユアトラック准教授
2013年 現職

- 1) Miyoshi et al. Fission yeast Pot1-Tpp1 protects telomeres and regulates telomere length. *Science*, 320: 1341-1344, 2008.
- 2) Tashiro et al. Shugoshin forms a specialized chromatin domain at subtelomeres that regulates transcription and replication timing. *Nature Communications*, 7: 10393, 2016.
- 3) Tashiro et al. Subtelomeres constitute a safeguard for gene expression and chromosome homeostasis. *Nucleic Acids Research*, 45: 10333-10349, 2017.
- 4) Inoue et al. Casein kinase 2 regulates telomere protein complex formation through Rap1 phosphorylation. *Nucleic Acids Research*, in press.

お問い合わせ 金沢医大 病理学 I 清川 kiyokawa@kanazawa-med.ac.jp